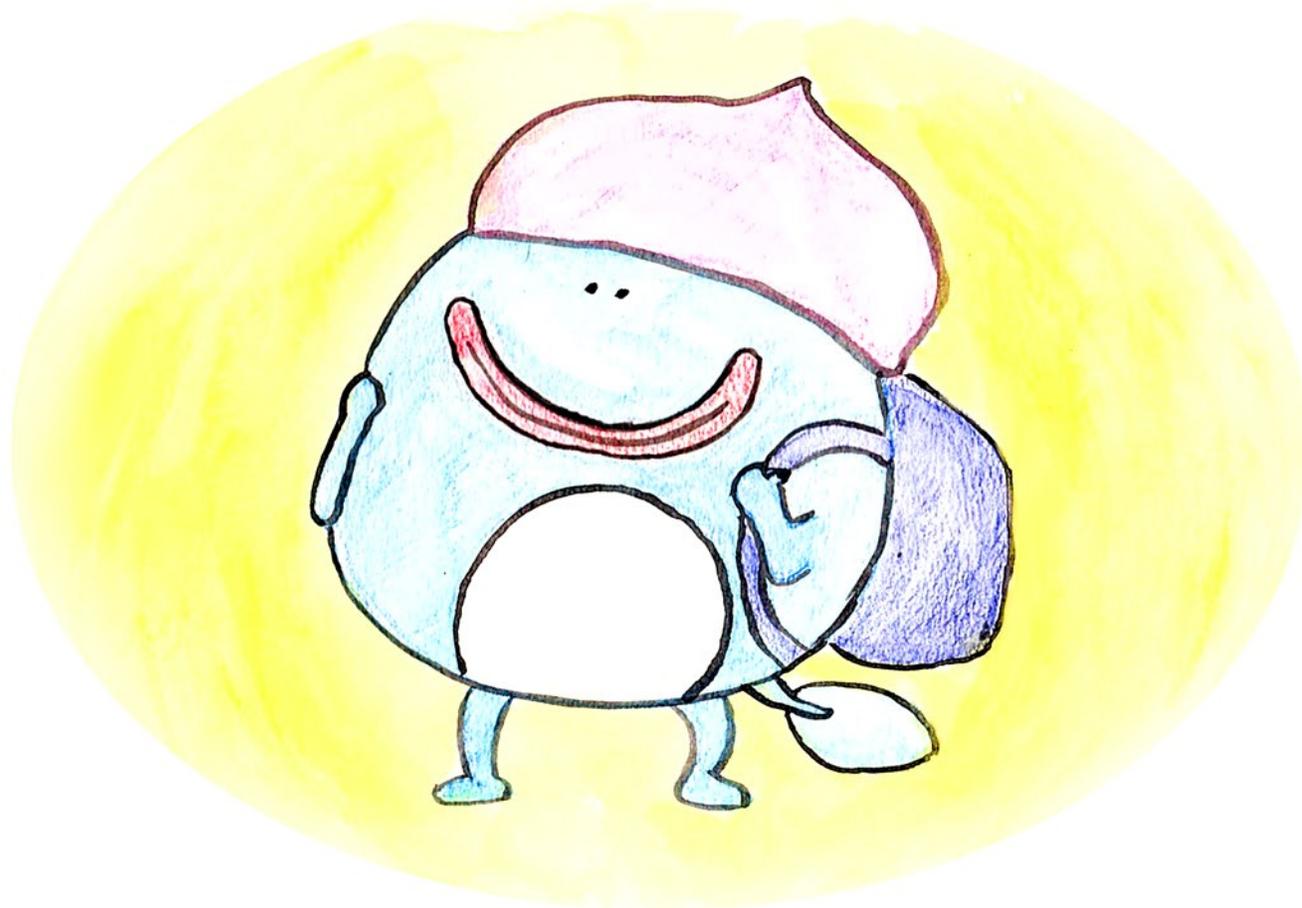


ビオトープ絵本シリーズ①

タニタニのだいぼうけん

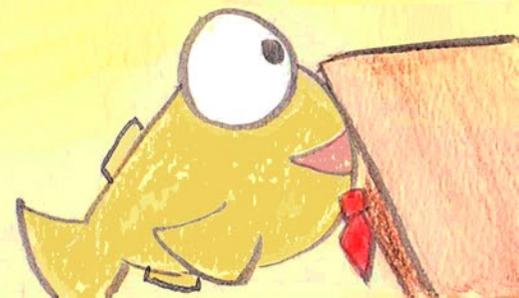
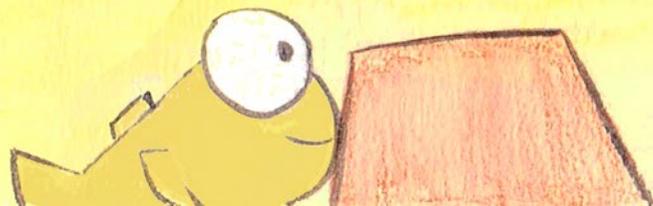
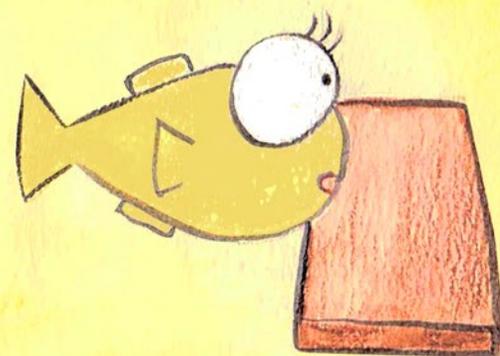
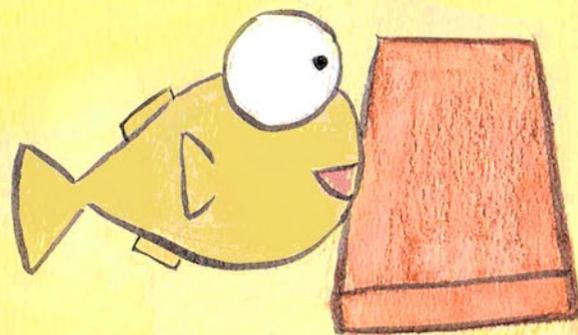


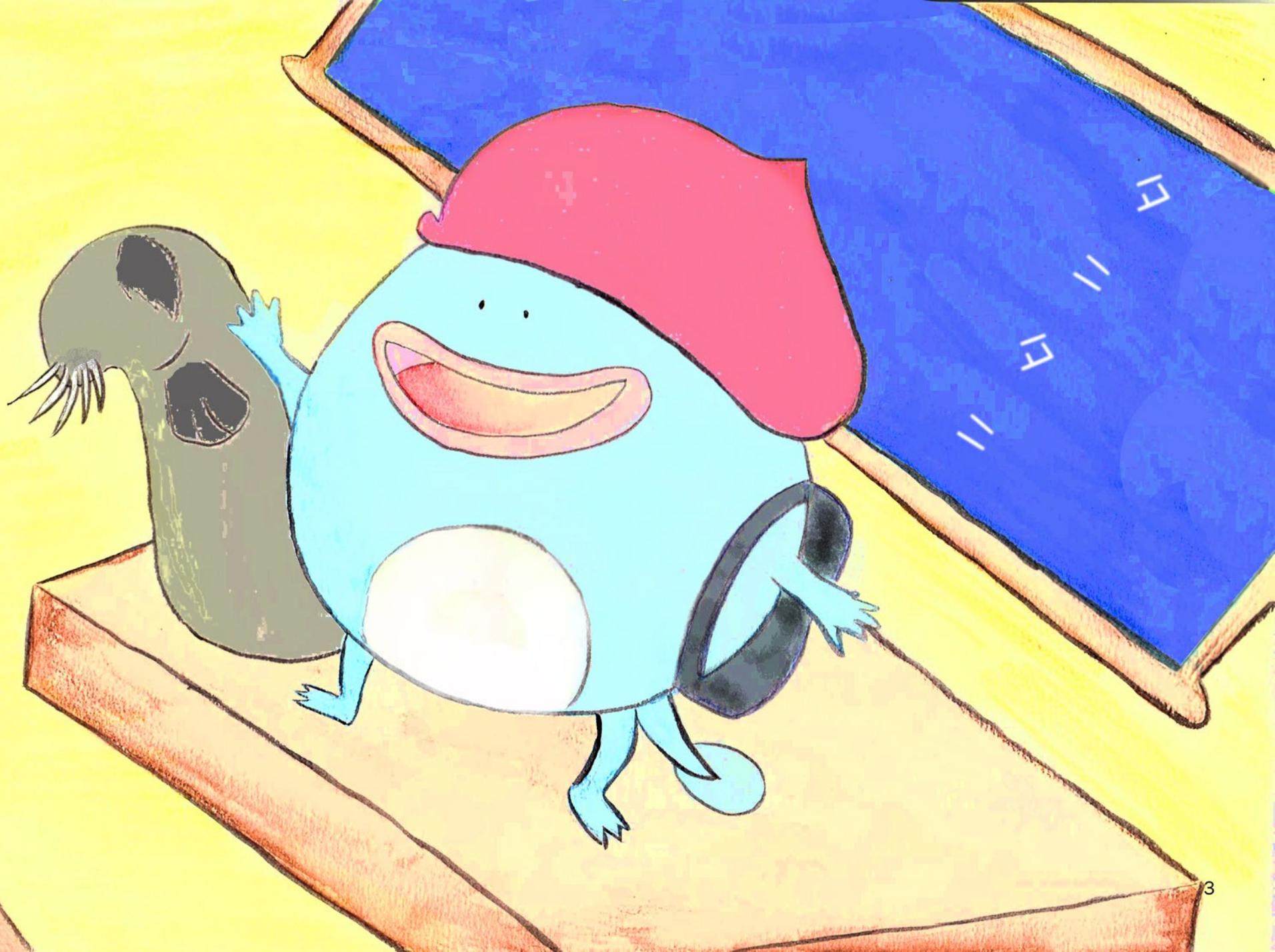
タニタニのだいぼうけん



作・絵 青森中央短期大学ビオトープサークル

あるひ ビオトープの メダカのがっこうに てんこうせいが やってきました。
ドジョウせんせいが ぐらすの みんなに しょうかいしています。
「ぼくは タニシのタニタニ。となりのたんぼから ひっこしてました。
みなさん、よろしくおねがいします！」

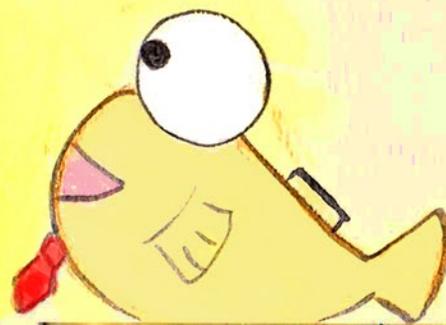
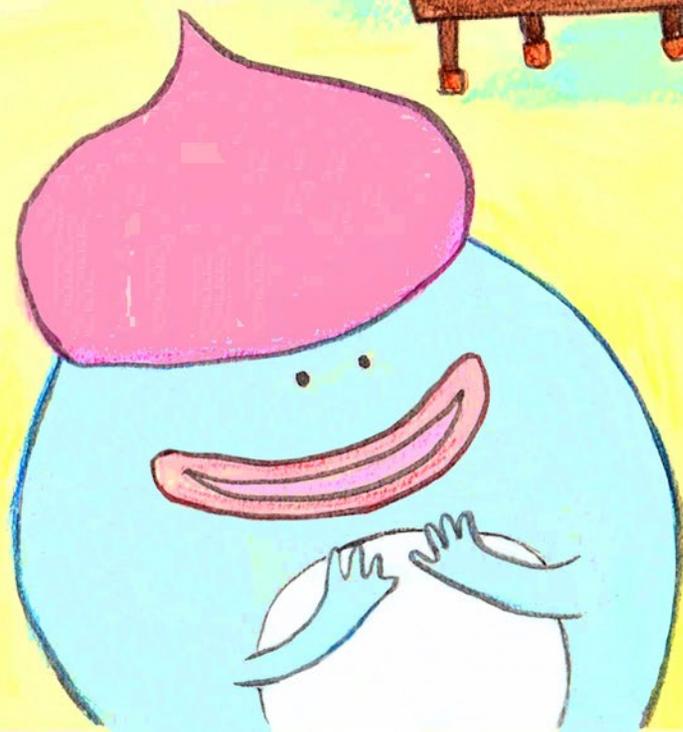
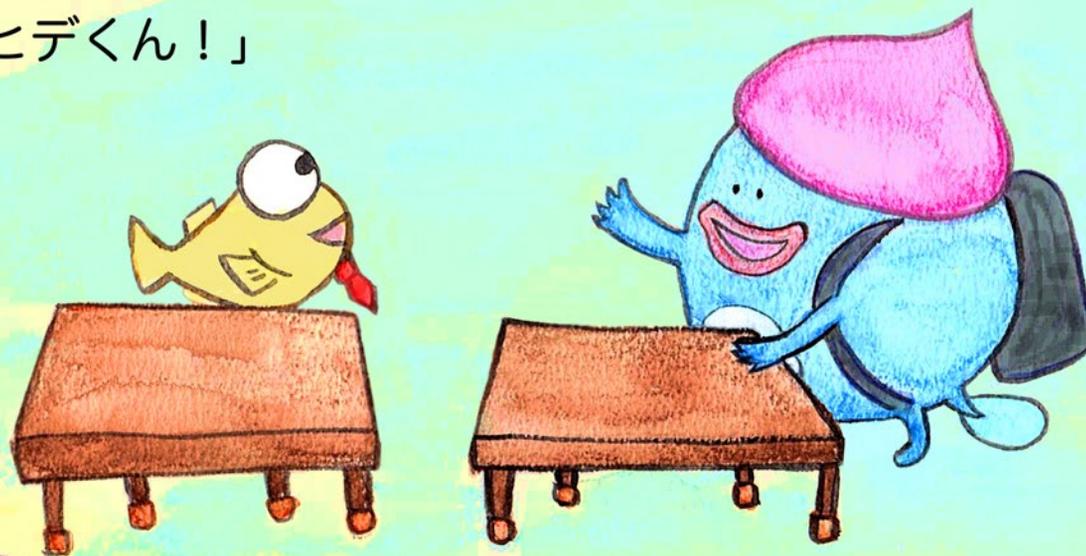




タニタニは ヒデくんのとなりに すわりました。

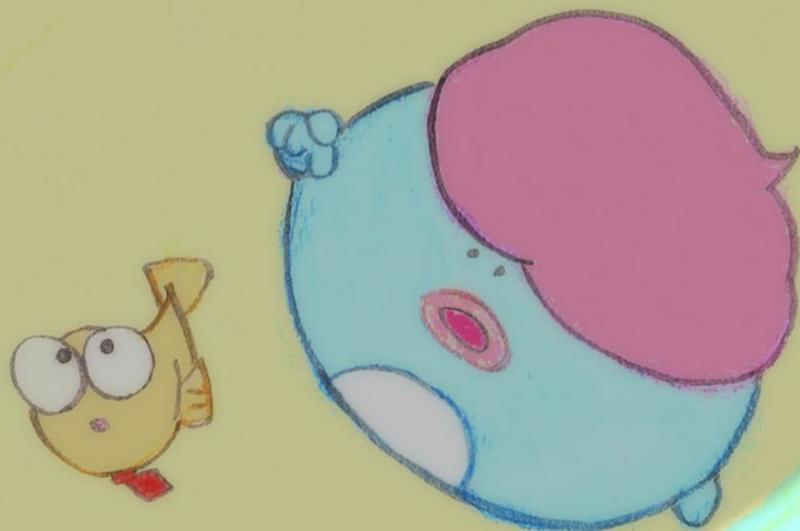
「はじめまして タニタニくん！」

「はじめまして ヒデくん！」



すっかり なかよくなった
ふたりは ほうかご
ビオトープのたんけん
に かけることにしました。

がっこうをしゅっぱつしてふたりでおよいでいると、
おやおや なにか おおきなかげが やってきましたよ。



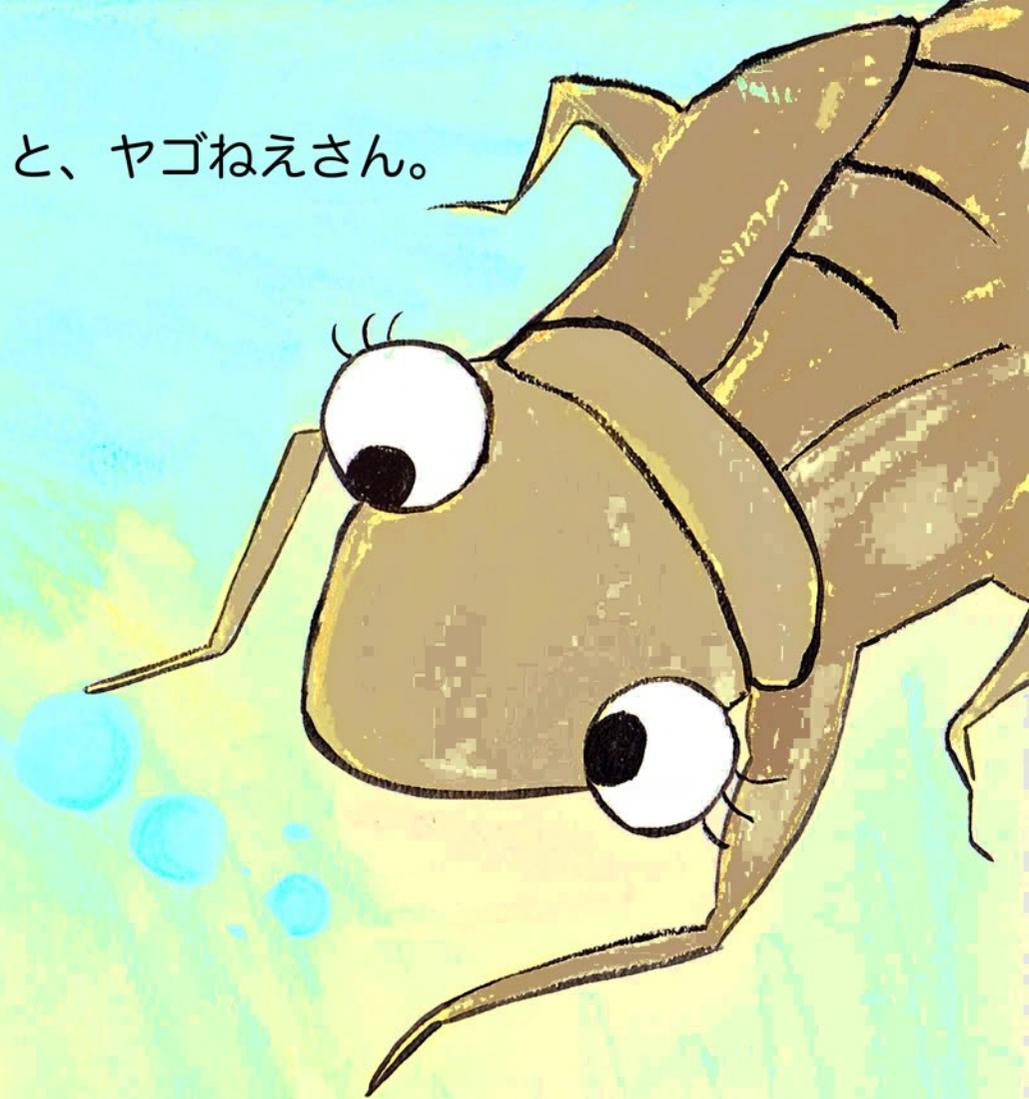
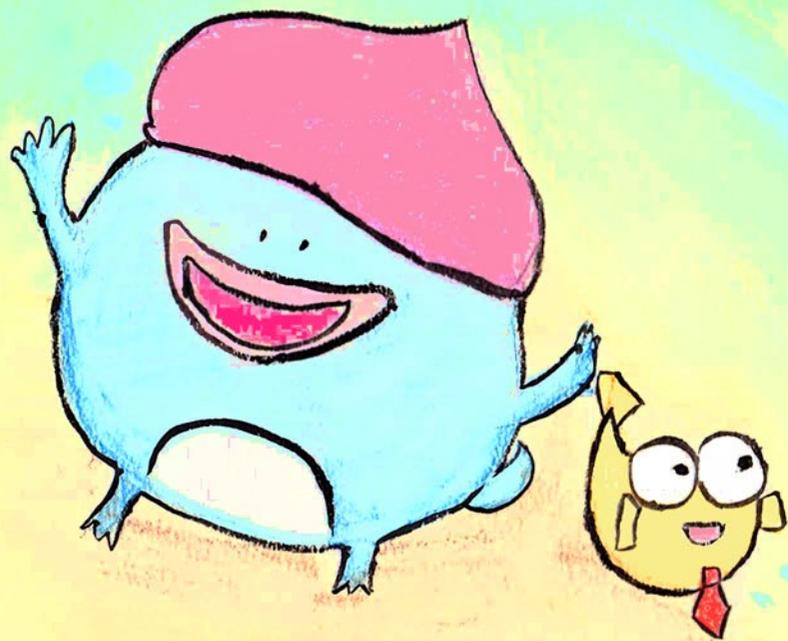
それは ゲンゴロウおにいさんと ヤゴおねえさんでした。

「ぼくのなまえは タニタニ。いま ビオトープを たんけんしているんだ。」

「たんけんだって？ それなら おにいさんの せなかにのっていきなよ！」



「きをつけていってらっしゃい！」と、ヤゴねえさん。



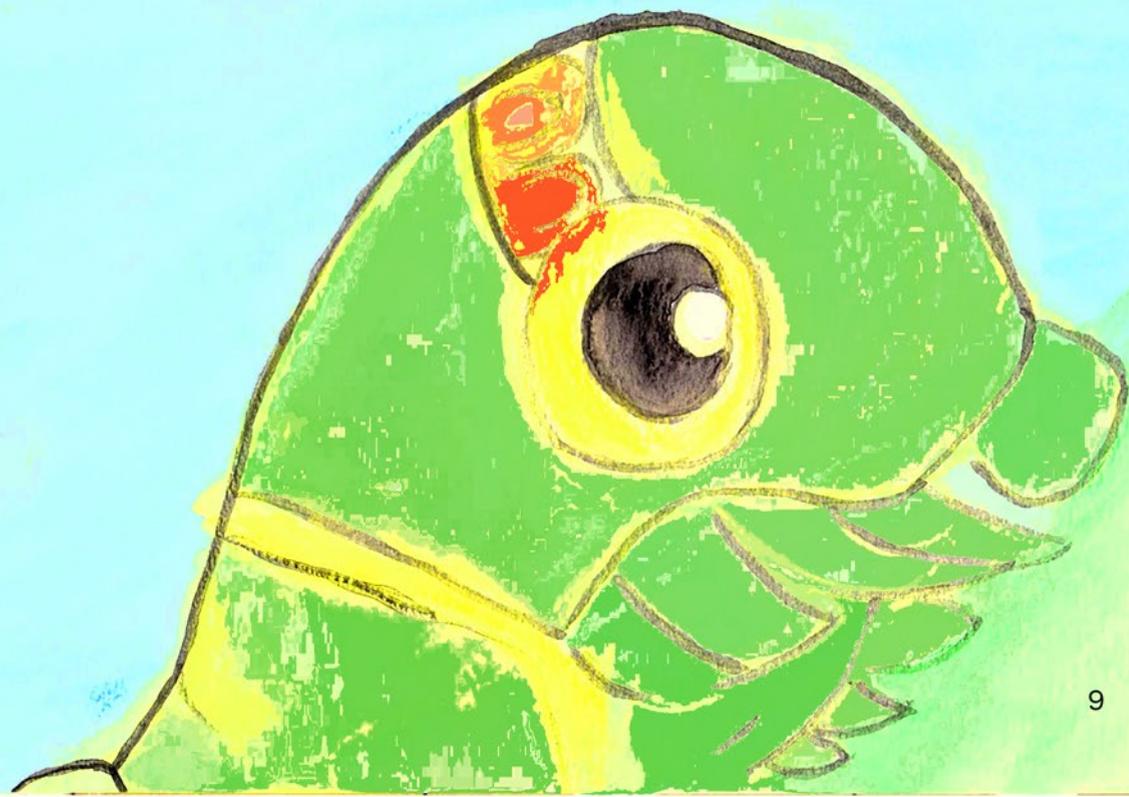
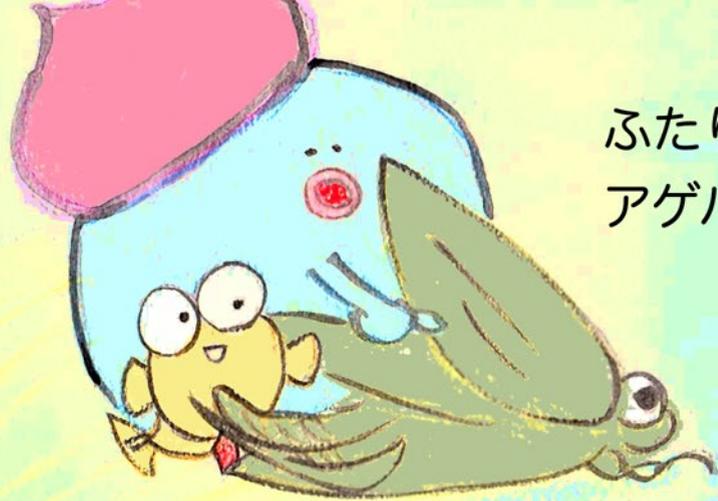
ビューン ビュ ビューンツ。

「みんなで たんけんに しゅっぱつだあ。」
みずからとびでた ゲンゴロウおにいさんは
はねをひろげて おおぞらにとびたちました。



「ねえ ゲンゴロウおにいさん。あそこで
サンショウの はっぱをたべているの だあれ??」

ふたりは サンショウのきにとまっている
アゲハチョウの あかちゃん をみつけました。



「こんにちは。ぼくのなまえは タニタニ。」

「こんにちは。わたしのなまえは アゲちゃんよ。」

「アゲちゃんの めはとっても
おおきいね！」

「そこはめではなくて、もようなの。
ほんとうの めは さきっちょに
ついているの。」

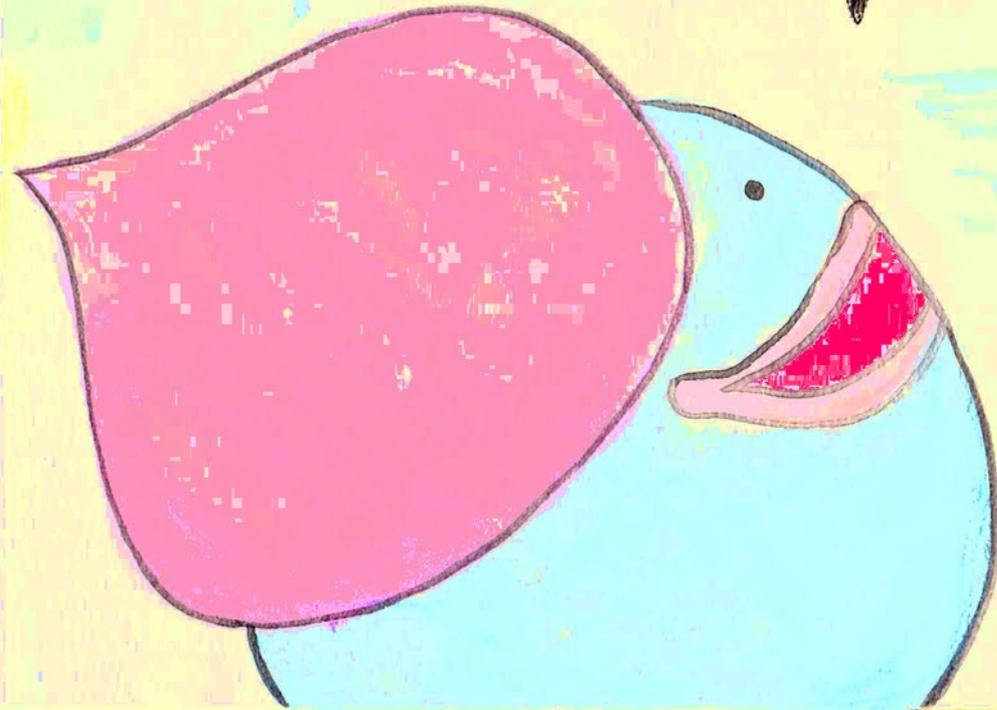


パタパタパタッ。

「あ！おかあさんだ！！」
「わぁとってもきれいな
おかあさんだね。」



「タニタニくん こんにちは。ビオトープには
ほかにもあかちゃんか
いるのよ。わたしが
つれていってあげます
よ。」



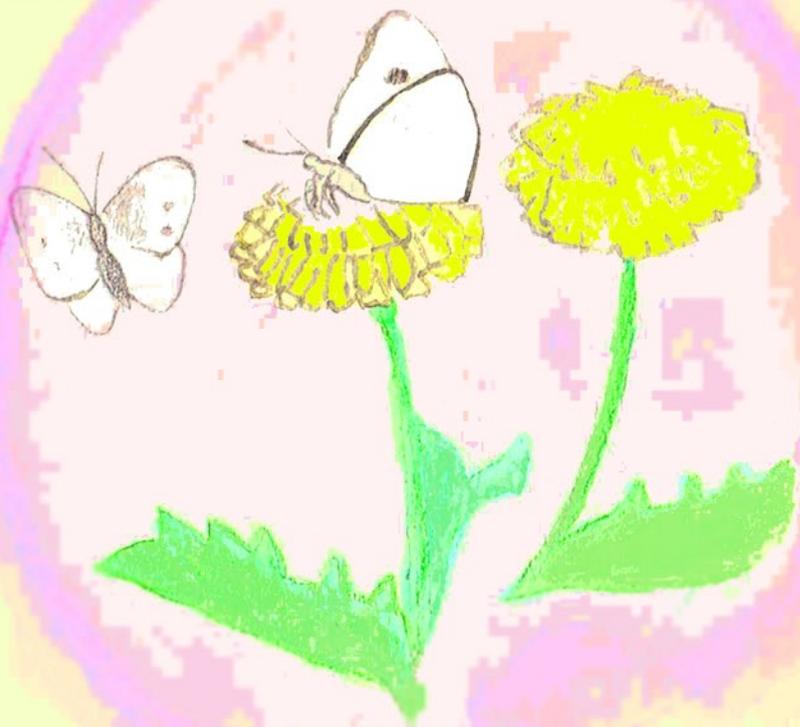


アゲちゃんのおかあさんはふたりを
はっぱのブランコにのせて
ちかくのこやにつれていって
くれました。

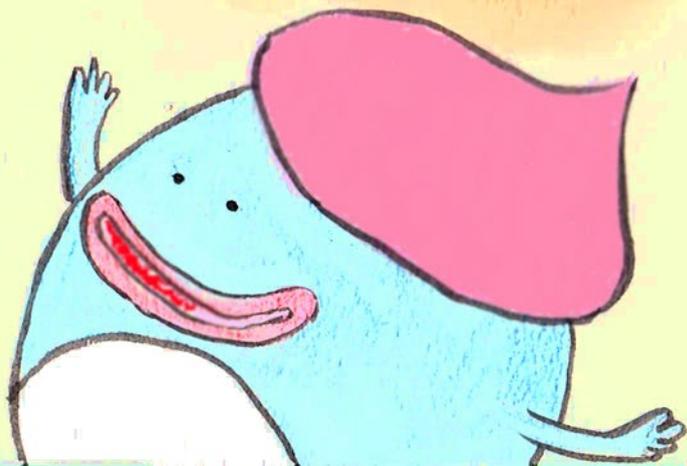
そこはカブトムシのほいくえん！
あかちゃんたちがむちむちぷにぷに
かわいいですね。



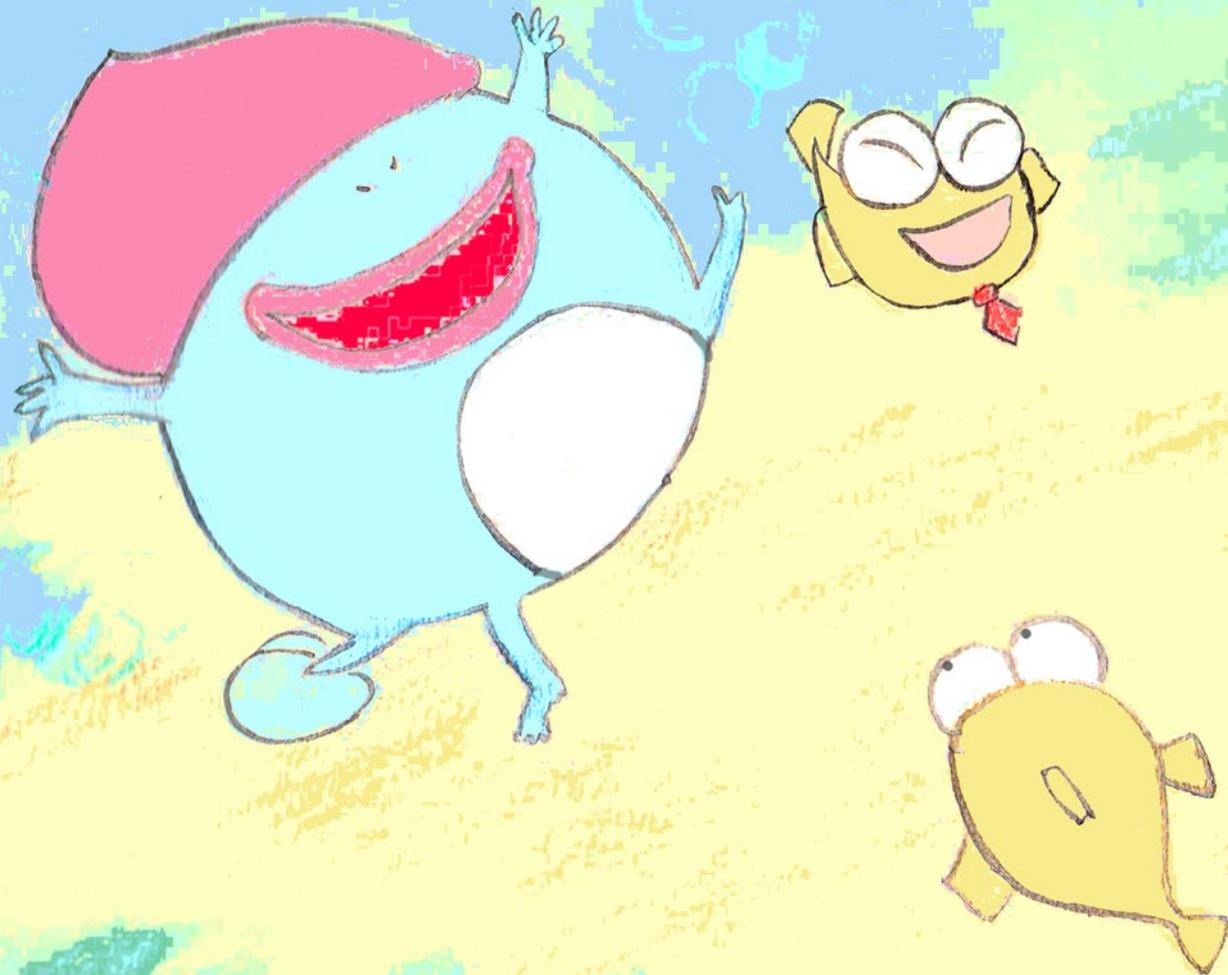
「きせつがかわると ビオトープで あえるいきものも かわるんだよ」



「はる なつ あき ふゆ。ビオトープにあそびにいったら たのしいね！」

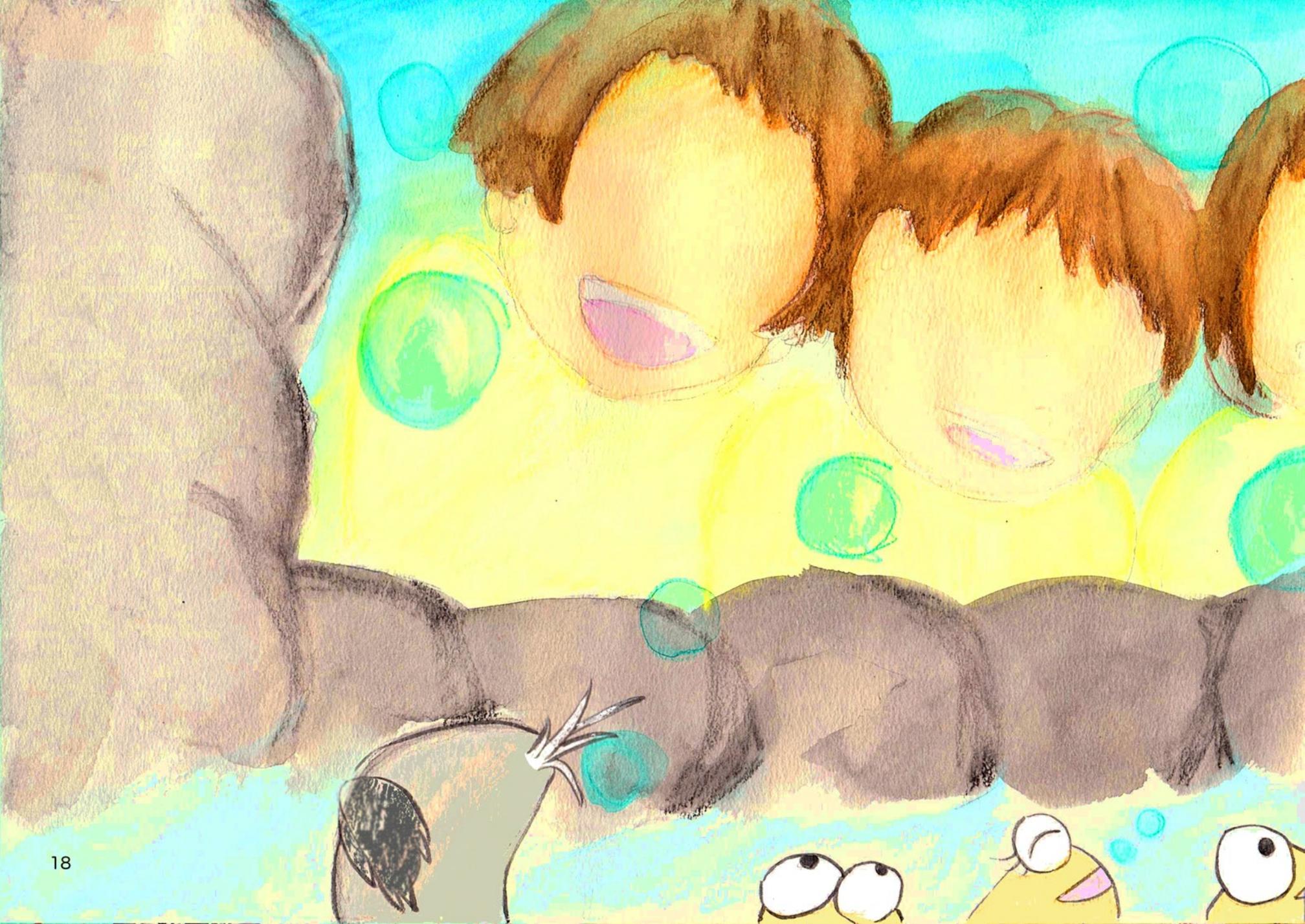


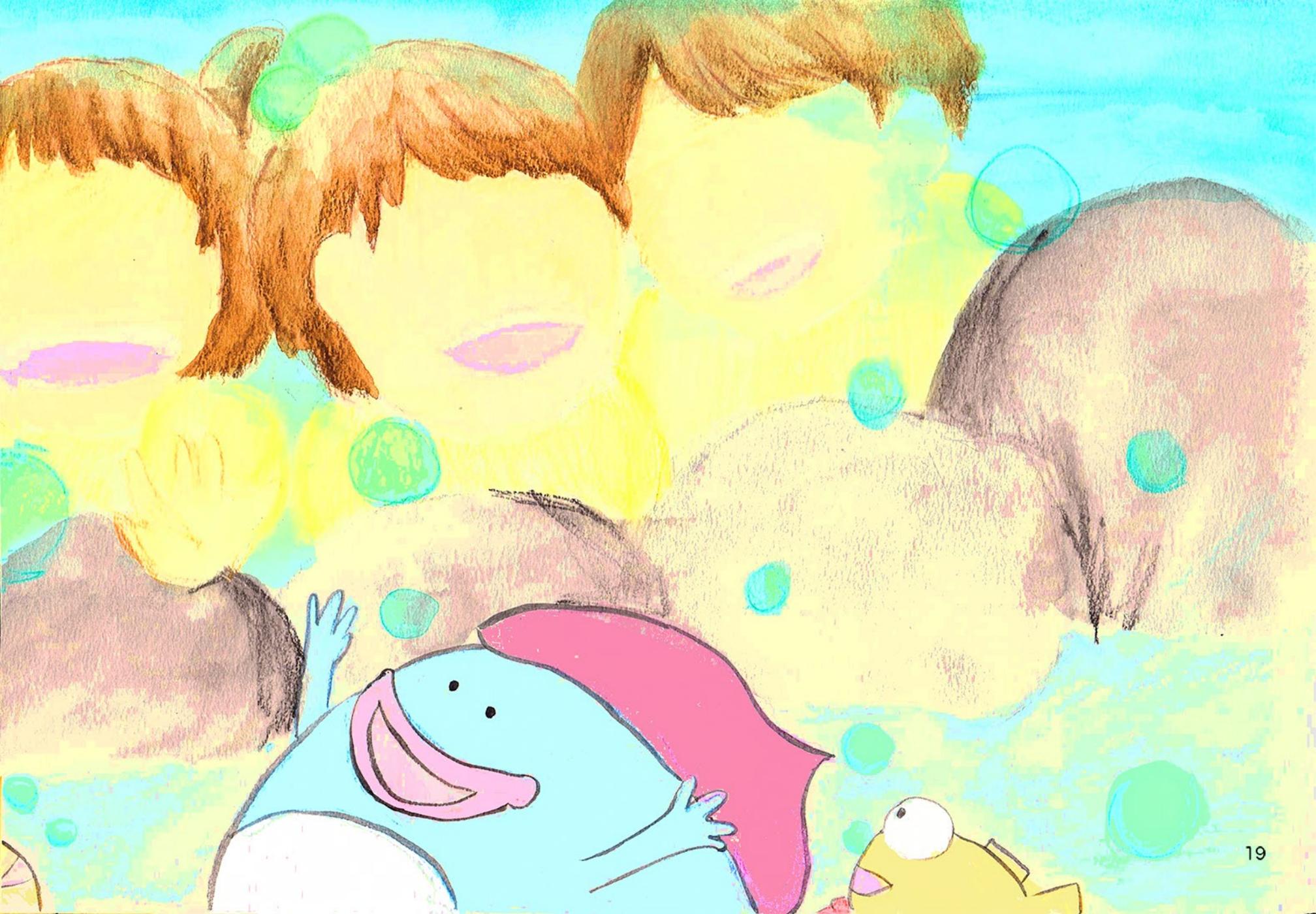
たんけんから がっこうにかえってきたふたりは だいまんぞく。
たくさん いきものにあつたことを ドジョウせんせいにはなしました。



おおはしゃぎしている ふたりが うえをみあげてみると、なんとそこには・・・







作・絵 青森中央短期大学ビオトープサークル・絵本班

蛭名 倭夏子
小笠原 叶子
川添 遥
須藤 李奈
高橋 海沙
高松 杏里
舘田 伶奈
柳平 寿里
渡辺 華菜恵

監 修 清多 英羽 (青森中央短期大学・准教授)
(現 東北学院大学・准教授)

2017年9月発行

サークル公式ツイッター <https://twitter.com/chutanbiotope>
お問い合わせ biotope@chutan.ac.jp

*この絵本の制作・印刷費用は、平成28年度みちのく・ふるさと貢献基金の助成を受けたものです。



to be continued....